業務件名

法面調査業務

業務計画書

令和○年〇〇月

〇〇株式会社

業務計画書目次

1. 業務の概要
   1. 業務の目的
   2. 業務概要
2. 調査方法
   1. 法面調査
   2. コア抜き調査
3. 連絡体制（緊急時を含む）
4. 業務工程
5. 安全対策
6. **業務の概要**

1.1業務の目的

本業務は〇〇の法面において法面調査を実施し、〇〇の判断を行うことを目的として点検を行う。

1.2業務概要

(1)業務名：〇〇〇〇〇〇

(2)業務場所：〇〇〇〇〇〇

(3)工期：令和〇年〇月〇日〜令和〇年〇月〇日

(4)発注者：〇〇都道府県〇〇土木事務所等

　　　　　　　　住所：〒〇〇〇-〇〇〇 〇〇都道府県〇〇

電話：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(5)業務実施会社：〇〇株式会社　〇〇支店

　　　　　　　　住所：〒〇〇〇-〇〇〇 〇〇都道府県〇〇

電話：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(6)業務担当者：

　　・現場責任者：〇〇〇〇

図1.1 調査箇所位置図

1. **調査方法**

2.1法面調査

調査対象の吹付法面において、ロープアクセス技術を用い、近接目視による変状調査及び全面の打音調査を実施する。

1. 調査方法

ロープアクセスによる吹付法面調査の概要を図2.1に示す。

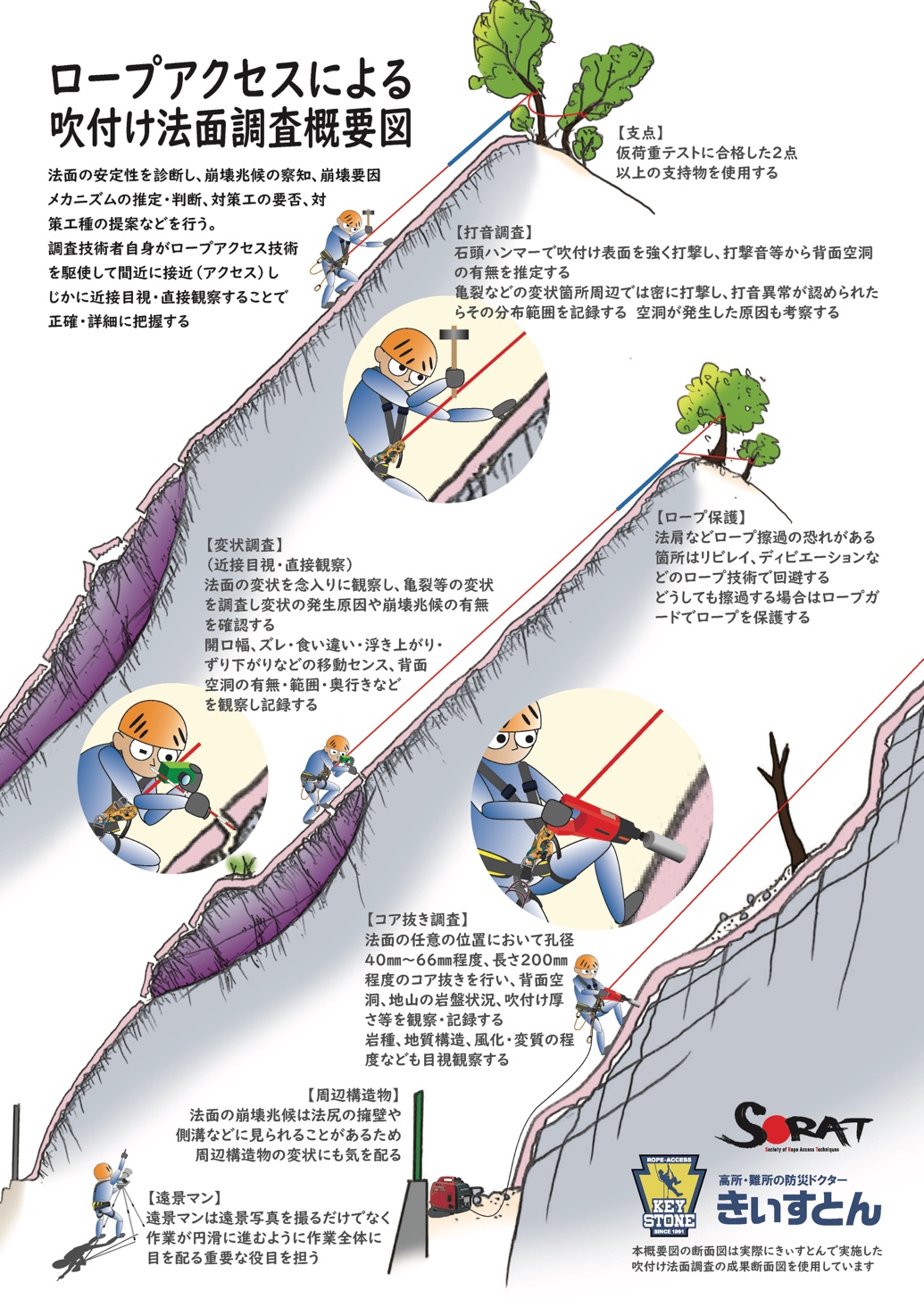


図2.1 ロープアクセスによる吹付法面調査の概要図（（株）きぃすとん HPより引用）

1. 主な装備

使用機材を以下に示す。

**共同装備**

スタティックロープ(長さ30～200 m、径9～11 mm、破断強度は2 t強）

ロープバッグ等

**個人装備**

ヘルメット

ハーネス

下降器(ディセンダー、RIG）

登高器（チェストアッセンダー、ハンドアッセンダー）

アブミ

スリング

カラビナ

ロープガード

無線機等

**調査用具**

カメラ（デジタルカメラ等、予備機も携行）

筆記具

図面携帯用バインダー

クリノコンパス

巻尺

FRP製赤白伸縮ポール（写真撮影用スケール）

金属ハンマー等

ロープユーザーの標準的な装備例を図2.2に示す。

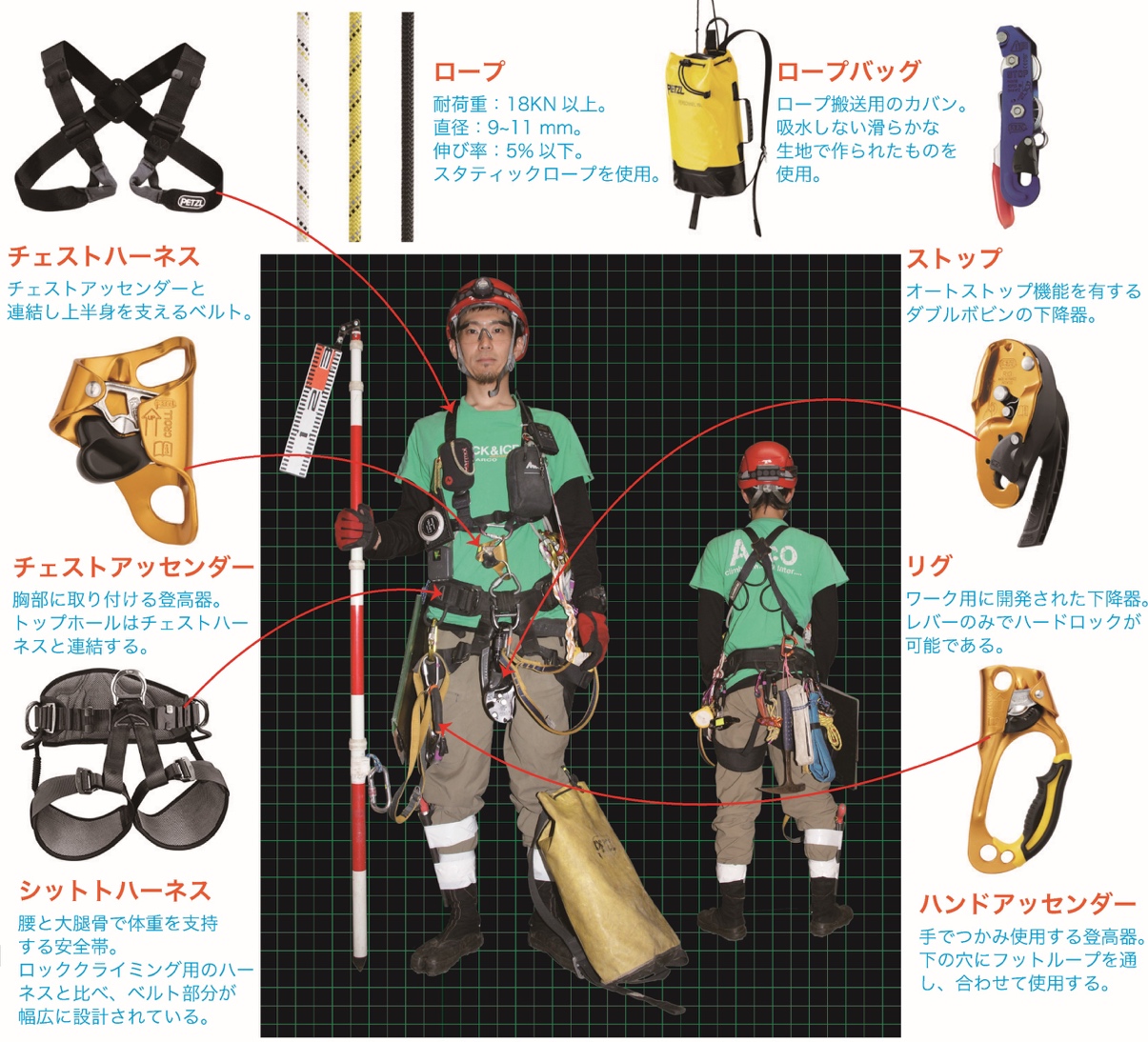
****

図2.2 ロープユーザーの標準的な装備例（（株）きぃすとん HPより引用）

1. 作業手順

**打合せ**

作業員全員と作業目的を確認し、各自の作業内容を明瞭にする。

作業箇所の上方・下方への第三者の侵入防止、通行規制方法を確認する。

調査作業については、作業分担、調査測線、手順等を確認する。

無線の動作チェックを各自で行う。

**作業開始**

支援要員は、現地全体を見渡せる場所に、遠景撮影機材を持ち込む。

ロープユーザーは、ロープアクセス装備と調査機材を装着したうえで、所定の

長さのロープを携行し、各自の担当する調査測線上端に徒歩等で移動する。

**調査方法**

測線沿いをゆっくり下降しつつ、調査測線を中心に、のり面状況を確認する。

打音調査をおこない、のり面の状況を確認する。必要に応じて、はつり落としを

行う。

現場作業手順を図2.3に示す。

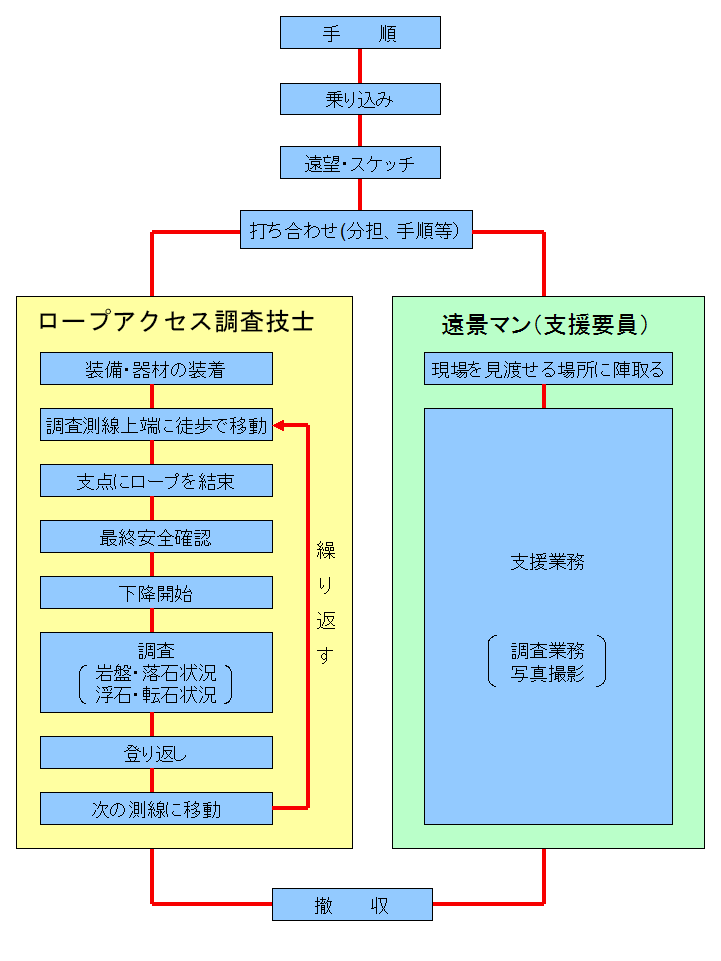


図2.3 現場作業手順（（株）きぃすとん HPより引用）

2.2コア抜き調査

調査対象の吹付法面において、吹付厚・背面空洞・地山状況の確認等のためにコア抜きを実施する。

コア抜き位置は、法面調査結果及び現地状況を踏まえて決定する。

ロープアクセスによるコア抜き調査の実施例を図2.4に示す。



図2.4 ロープアクセスによるコア抜き実施例（（株）きぃすとん HPより引用）

コア抜き調査の結果表例を図2.5に示す。



図2.5 コア抜き調査結果表例（（株）きぃすとん HPより引用）

1. **連絡体制(緊急時を含む)**

連絡体制（緊急時を含む）を、図3.1に示す。

図3.1 連絡体制

1. **業務工程**

業務工程を、表4.1に示す。

表4.1 業務工程

1. **安全対策**

業務の実施にあたっては、以下の通り安全対策を実施する。

〇〇の安全対策

・

・

・

ロープアクセス調査の安全対策

・調査開始前に使用機材の点検を行う。

・安全な箇所からロープを使用し、確保を取る。

・調査員同士が上下作業とならないように、連絡を無線等で密にとる。

・第三者（調査員以外）の調査範囲および上方・下方への侵入禁止の徹底を行う。

〇〇の安全対策

・

・

・